

教科 科目名	芸術科(音楽)		学年・科目群	3学年・必修(芸術選択)	① 音楽と生活や社会との関わり、② 音楽の成り立ちや要素と自己表現、③ 音楽によるコミュニケーション、④ 音楽文化の多様性や歴史的背景などについて、中学校までの学びを生かして、「幅広く」学んでいきます。歌唱・器楽・創作・鑑賞の活動を通して、社会で生かせる【協働する力】【創造する力】を身に付けていきます。		
	音楽Ⅰ		単位数(年間授業時数)	2単位(70時間)			
学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
三つの柱	(1)	知識及び技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。				
	(2)	思考力・判断力・表現力等	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。				
	(3)	学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				
教科書 教材	【教科書】教育芸術社『MOUSA 1』 【副教材等】教育出版『New Recorder Library Basic Lesson & Ensemble』						
ポイント	(1) 初回の授業に示す「授業のルール」を守り、積極的に音楽の活動に取り組んでください。 (2) 楽譜、ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイルを必ず用意してください。 (3) 音楽室や楽器庫にある机や椅子、リコーダー等の楽器や備品などの取り扱いには、十分注意をしてください。 (4) 授業に使用する教科書や持ち物を忘れた場合は、必ず朝のうちに申し出るようにしてください。授業開始直前・授業中では対応できません。 (5) この科目では、歌唱や器楽の「演奏実技」だけではなく、「思いや意図を持って表現する力」を伸ばします。音楽経験等によって得意不得意はあると思いますが、感じたことや考えたことを積極的に文章や発言を通して表現しましょう。						
学習評価	評価の観点						
	a	知識・技能	① 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ② 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。				
	b	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら美しさを自ら味わって聴いたりしている。				
	c	主体的に取り組む態度	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4	MUSIC CLASS GUIDANCE	自分自身の音楽の興味・関心や体験について、中学校までの学習内容を含めて振り返る。	高校生として音楽を学ぶにあたって、音楽を幅広くさまざまな視点から捉えることについて考える。	未来を見通す力	知 校歌のレコーディング 思 ワークシート 態 取組の様子	2
		SEEDS OF MUSIC ～蒔こう！育てよう！音楽の「タネ」～	1年間の学びをダイジェストで体験し、学びの見直しをもつ。	リズムを使って音楽で表現したり、社会の中の音楽についてさまざまな立場の視点で考えたりする。	未来を見通す力	知 ワークシート 思 はじめての作品 態 ワークシート 授業中の発言 体験活動の様子	3
	4 5	Popular Music Festival ～歌詞の内容を意識して、J-POPを歌おう！～	J-POPを斉唱や二部合唱で楽しみながら、高校の音楽の学習への意欲を養う。	J-POPの旋律や強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。	探究する力	知 グループの歌唱の様子 思 ワークシート 態 プランニングシート ワークシート 取組の様子	5
	5 6	めざせ！リコーダーマスター！▼	リコーダーの基礎的な奏法を学習し、音色や奏法の特徴を生かしながら、曲想にあった音楽表現を工夫して演奏する。	創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表す。	継続して挑戦する力	知 確認テスト 思 レッスンや取組の様子 態 最終発表会の演奏	6
	6 7	世界の果てまでミュージックQ！	世界の諸民族の音楽を、声の表現と楽器の表現の観点から比較鑑賞し、それぞれの音楽の多様性・共通性・独自性についてとらえる。	世界の諸民族の音楽の音色を知覚・感受し、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、及び音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを自ら味わって聴く。	他者を思いやる心	知 インフォグラフィック 思 インフォグラフィック 態 ワークシート 取組の様子 振り返りシート	5
	7 8	ゼロから始めるギター生活	クラシック・ギターの基礎的な奏法を学習し、音色や奏法の特徴を生かしながら、曲想にあった音楽表現を工夫して演奏する。	クラシック・ギターの課題曲の曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。	継続して挑戦する力	知 取組の様子 思 中間・最終発表会の演奏 態 ワークシート 発表前スピーチ 取組の様子 振り返りシート	6
	8 9	THS Jazz Session -TOMAMAE Blue Note Records-	ジャズの雰囲気やイメージを音楽の構造や構成上の特徴と関わらせて理解し、それらを生かしてジャズらしい旋律を変奏(アドリブ)する。	仲間とともにブルー・ノート・スケールや音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。	協働する力	知 練習の様子 思 発表会の演奏 態 ワークシート プランニングシート 取組の様子 ワークシート	7
	後期	10	Movie Music Master ～映画を彩る音楽～	音楽と映像との結び付きを考えながら映画音楽を鑑賞し、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどう表現されているかについて考え、その魅力についてまとめる。	映画音楽の音色や旋律を知覚・感受し、曲や演奏に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを自ら味わって聴く。	他者を思いやる心	知 ワークシート 思 リール動画作品 態 リール動画作品 ワークシート 取組の様子 相互交流シート
10 11		歌よ、愛を語れ！	日本語、イタリア語、ドイツ語、フランス語の言葉の特性に関心を持ち、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして表情豊かに歌う。	各国の歌曲の旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。	探究する力	知 最終発表会 思 取組の様子 態 ワークシート 脚本シート 取組の様子	6
11		古今東西「舞台芸術」の世界	舞台芸術の特徴を理解し、そのよさについて感じたことや考えたことをそれぞれの音楽文化の特徴から比較してまとめる。	舞台芸術における音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。	他者を思いやる心	知 ワークシート 思 ワークシート 態 鑑賞中の様子や発言	4
11 12		LIFE×MUSIC ～生活や社会を「デザイン」する音楽～	音楽材や音階の特徴を生かして、音色やリズムの観点で様々なBGM、サウンド・ロゴや着信音を鑑賞し、音楽の特徴を捉えた上で個性豊かに協働しながら、表現を創意工夫して「生活に根ざした音楽」を創作する。	BGM、サウンド・ロゴや着信音の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴く。	創造する力	知 プロジェクト作品 思 ワークシート 態 カトシート ワークシート 取組の様子 ワークシート	8
12 1		World Wide Water ～「水」を表現する音楽の世界～	箏の音色や奏法の特徴を生かして、音楽表現を工夫する。また、その音楽表現に必要な技能を身につける。	水を表現する楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽及び鑑賞の学習活動に取り組む。	協働する力	知 取組の様子 思 最終発表会の演奏 態 WWWメモ ワークシート 取組の様子 ワークシート	7
1	混声合唱に挑戦！ ～歌詞に込められたメッセージを歌で表現しよう～	各パートの役割を意識し、歌詞に込められたメッセージについて考えたことをもとに表現を工夫して合唱の喜びを味わう。	クラスでの合唱のよさや持ち味など、様々な表現形態による歌唱の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	協働する力	知 練習の演奏 思 最終発表会 態 合唱コメント ワークシート パート練習や全体練習の様子 振り返りシート	6	
							70
教科 横断	単元	LIFE×MUSIC ～生活や社会を「デザイン」する音楽～	生活や社会の中の音や音楽について、鑑賞や表現の活動を通して学ぶことで、実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する力を身に付ける。地域や学校の魅力を発信するサウンド・ロゴや通知音等を創作することを通して、表現力を高める。				
	関連	総合的な探究の時間					